SHOP NEWS　ミュージアムグッズと刊行物の紹介

商品価格は税込みです。

「おばあちゃんちのおかって ブックケース」
A5サイズ　600円

「おばあちゃんちのおかって」シリーズ5冊が入るケースです。（※本は別売り）

美濃加茂市のふるさと納税記念品に選ばれました！

「おばあちゃんちのおかってバンダナ」
3種類（おばあちゃん、お祝、漬物）
51 x 52.5cm　各1,300円

「墨痕に咲う展図録」
A4判 P18　500円

会員募集中　みのかも かるちすと くらぶ

みのかもかるちすとくらぶは「みのかも文化の森」と「かも～る（文化会館）」の催しをもっと楽しんでいただくために、たくさんの特典をご用意しています。
みなさまのご入会をお待ちしています。

入会について

❶年会費 1,200 円
お申し込みいただいた翌年の同月末日まで有効です。

❷お申し込み方法
それぞれの施設に設置してある申込用紙にご記入の上、会費を添えて窓口でお申し込みください。

こんな特典があります!!

- 美濃加茂市市民ミュージアム企画展観覧料無料（会員様本人のみ）
- ミュージアムニュースの送付（年4回）
- 12月に、オリジナルグッズをプレゼント。
- 入会時に、みのかも文化の森内喫茶室「cafe ツナグ」の呈茶券をプレゼント。モーニングサービスにも使えます。
- 文化や芸術に触れる日帰り研修バスツアー等への参加。

みのかも annual 2023

会期　2023年 5月2日㈫ - 4日㈭
時間　9:00 ～ 17:00（最終日は 15:00 まで）
会場　みのかも文化の森　敷地内の森

観覧無料

みのかも annual 2022
manabiya.（竹田 尚史 , 榊原 由依）
ワークショップ作品

現代美術の作家たちがみのかも文化の森に滞在して、森の中で新しい表現を考え、調査・研究をする３日間。会期中は来場者が参加できるワークショップも行います。

戯（たわ）け展

会場の旧桜井邸

展覧会名の「戯（たわ）け」とは、どこかふざけた様子などをあらわす東海地方のことばで、ネガティブな物事を笑い飛ばすニュアンスを含みます。このような人と人がつながり戯れることが、ポストコロナの時代のアートに必要とされる道標のひとつではないかと考えています。昨今、地方が直面する人口減少や過疎化は文化の継承を脅かしています。今回の展覧会ではアートを通じて「行政 × 地域住民 × 外部因子」がともに未来を作り出していくことを目的としています。大正時代に建てられた古民家の「旧桜井邸」の室内外に、７人の作家が多様な素材を用いて思いを表現し空間構成していきます。

<参加作家>林 武史／石井 琢郎／宮原 嵩広／名倉 達了／川島 大幸／森山 泰地／石川 洋樹

http://tawake-sakurai.com/ ▶

会　場：旧桜井邸（美濃加茂市伊深町 592）
会　期：2023 年 4 月 14 日（金）から 5 月 7 日の間の金土日に開催
（4 月 14,15,16, 21,22,23, 28,29,30, 5 月 5,6,7 の 12 日間）
時　間：10:00 -17:00
観覧料：無料
主　催：東京藝術大学　彫刻科第二研究室　　後援：美濃加茂市
協　力：伊深まちづくり協議会、美濃加茂市民ミュージアム
助　成：公益財団法人十六地域振興財団、公益財団法人野村財団、公益財団法人花王芸術・科学財団

Instagram　Follow Me!

minokamo_bunkanomori_official

展覧会情報のほか、風景・アート・収蔵資料など、みのかも文化の森の魅力を発信していきます。

Webでも楽しもう！文化の森

【ふらりと展示室】

美濃加茂市民ミュージアムにある常設展示室をWEB上で見られます。気軽に「ふらり」と立ち寄って、気の向くままにページを開いてみてください。そして、何かここで感じたことがあれば、それを確かめにこの展示室や現地を訪れてみてはいかがですか…

文化の森HP http://www.forest.minokamo.gifu.jp/
→ふらりと展示室

【美濃加茂事典】

美濃加茂地域を中心とすることがらを事典形式で解説。

文化の森HP
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/
→データベース→美濃加茂事典

■ご利用のご案内
開館時間　9:00～17:00
（ただし、施設の貸出し利用は8:30～22:00まで）
休 館 日　月曜日
（ただし、祝日の場合は開館し、直後の平日休館）
年末年始
【3･4･5･6 月の休館日】
3月27日、 4月 3日、10日、17日、24日
5月 1日、 8日、15日、22日、29日
6月 5日、12日、19日、26日

■交通
●鉄　道　JR名古屋駅から美濃太田駅まで
東海道本線・高山本線経由、
特急「ひだ」で約40分
美濃太田駅北口から徒歩約17分
●自動車　東海環状自動車道美濃加茂ICから約5分
●あい愛バス
JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車
（乗車時間約10分）
※時刻表など詳しくは、あい愛バスのホームページをご覧下さい。
https://aiai-bus.com/

行き	
美濃太田駅北口発	文化の森着
9:08	9:18
10:48	10:58
13:33	13:43
15:15	15:25

帰り	
文化の森発	美濃太田駅北口着
9:59	10:10
11:39	11:50
14:24	14:35
16:06	16:17

運賃 ／一般 100円　中学生以下無料

みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム
MINOKAMO CITY MUSEUM
http://www.forest.minokamo.gifu.jp/
〒505-0004
岐阜県美濃加茂市
蜂屋町上蜂屋3299-1
TEL：0574-28-1110
FAX：0574-28-1104

minokamo city museum

…想いを 巡らし、はじまる森…

MUSEUM NEWS みのかも文化の森 vol.109

2023年3月25日発行

森が大切にしているもの　10

この時期、みのかも文化の森のタワーに上ると、雪をかぶった山の峰々を彼方に望むことができます。北東には雪に煙る御嶽山、東にはどっしりとした山容の恵那山などです。この地が中部地方の自然豊かな山岳に囲まれていることを実感させる展望塔です。

「森のタワーから見える御嶽山」

Bunkanomori Special exhibition !

「子どもの時のおもひで」を読みとく展
－ 津田左右吉生誕 150 年 －

●会　期　2023 年 4 月 8 日㈯ - 5 月 28 日㈰
会期中の休館日　4 月 10 日、17 日、24 日　5 月 1 日、8 日、15 日、22 日
●会　場　美濃加茂市民ミュージアム 企画展示室
●観覧料　無料

津田左右吉「子どもの時のおもひで」原稿

歴史学者として大きな功績を残した津田左右吉（1873 ～ 1961）は、今年生誕 150 周年を迎えます。津田は小学校を卒業するまでの多感な少年時代を現在の美濃加茂市下米田町東栃井で過ごしました。

津田は晩年になってから「子どもの時のおもひで」という文章に美濃加茂で過ごした子供時代を綴っています。「子どもの時のおもひで」では、津田少年を育んだ自然の風景、小学生時代の勉学について、そして津田自身が「やまが」と呼んだ下米田での津田家の暮らしぶりなど、さまざまな内容が語られます。津田の見ていた景色や経験が鮮やかに描かれており、津田にとって下米田で過ごした記憶は忘れがたく思い出深いものであったのだと思われます。

今回の展覧会では、津田が残した「子どもの時のおもひで」から、津田の記憶に残る情景や経験についての文章をひもとき、津田少年が接した美濃加茂の風土や小学生時代に受けた教育などが、のちに歴史学者として大成する津田にどのような影響を与えたのかを考えます。

時代を超えて津田左右吉の「おもひで」が私たちに語りかける声を皆様にお届けしたいと思います。

◇協力　津田左右吉博士顕彰会

forum & event	●日時	●会場	●内容
講演会 「刻印された故郷 ―津田左右吉と下米田―」	5 月 14 日(日) 14:00-15:30	研修室	津田左右吉の記憶に残る下米田の情景についてお話しいただきます。 ■ 講師：早川 万年 氏（元岐阜大学教育学部教授） ■ 参加無料　＊事前申し込み不要
朗読会 「子どもの時のおもひで」	4 月 23 日(日) 14:00 ～	研修室	津田の記した「子どもの時のおもひで」の朗読を行います。 ■ 参加無料　＊事前申し込み不要
津田左右吉の生家見学会	4 月 30 日(日) 14:00-15:30	津田左右吉 博士記念館	幼少期に津田左右吉が暮らした生家は、現在、移築・復元され津田左右吉博士記念館となっています。家屋の作りや当時の柱などを見学し、明治時代の津田少年の暮らしに思いをはせます。 ■ 講師：溝口 正人 氏（名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授） ■ 定員：20 名　■ 参加無料 要 事前申し込み　4 月 8 日 (土) ～ 4 月 15 日 (土) ＊応募者多数の場合は抽選
ゆかりの地巡り	5 月 27 日(土) 14:00-15:30	下米田町東栃井 周辺 （集合は文化の森 エントランスホール）	美濃加茂市には、生家以外にも津田左右吉とゆかりの深い土地が多く残されています。「子どもの時のおもひで」にも綴られた左右吉の思い出をめぐります。 ■ 定員：20 名　■ 参加無料 要 事前申し込み　4 月 8 日 (土) ～ 5 月 7 日 (日) ＊応募者多数の場合は抽選
ミュージアムトーク	4 月 16 日(日) 5 月 19 日(金)	企画展示室	担当学芸員が展示室をご案内します。　2 日とも ①10:00-11:00 ②13:30-14:30 ＊事前申し込み不要

イベント

minokamo city museum

●日時	●名称	●内容	●会場	●参加料	●定員
3/11(土) ～ 4/23 (日)	収蔵品展	美濃加茂市民ミュージアムで所蔵する美術工芸品を展覧します。	美術工芸展示室	無料	―
4/15(土) 14:00-15:00	第 227 回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品「吉野弘 詩集」5 編 「ミニシアター」髙田 郁 / 作 状況に応じて対面上演またはビデオ上映	緑のホール	無料	60名
5/13(土) ～ 8/27 (日)	蚕とまゆ展	古くから盛んに養蚕が行われてきた美濃加茂市。養蚕の道具とともにかつての暮らしを紹介します。	民具展示館 生活体験館	無料	―
5/18(木) 9:00～	国際博物館の日 記念品配布	国際博物館の日は、博物館が社会に果たす役割を広く普及啓発するため、国際博物館会議が1977年に制定した記念日です。	企画展示室 記念品配布は先着20名	―	―
5/20(土) 14:00-15:00	第 228 回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品：「白雪姫」裁判　今井雅子 / 原作 状況に応じて対面上演またはビデオ上映	緑のホール	無料	60名
6/17(土) 14:00-15:00	第 229 回 森の朗読会	市民による朗読です。 作品：「電球を替えるのはあなた」森 絵都 / 作 「サービスの落とし穴」 森 絵都 / 作 「子どもの世界 大人の事情」髙田 郁 / 作 状況に応じて対面上演またはビデオ上映	緑のホール	無料	60名

アートな 1 日講座

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
5/14(日) ①13:30-14:30 ②15:00-16:30	陶芸で作る食器	手びねりの技法、またはろくろで茶碗などの食器をつくります。出来上がった作品は、後日お渡しします。 （送付の場合有料） 持ち物：エプロン、タオル	要 事前申し込み 【4/11 (火)～4/23(日)】 申込の際は希望時間をご記入下さい。	陶芸室	1,000円	各8名
6/25（日） 13:00-16:00	ちぎり絵	色鮮やかな和紙を指でちぎって、柔らかい風合いのちぎり絵を楽しみましょう。 持ち物：タオル	要 事前申し込み 【5/16（火)～5/28(日)】	工芸室	500円	12名

ていねいな暮らし講座

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
6/17(土) 9:30-12:00	真綿づくり	カイコのまゆから真綿を作ります。	要 事前申し込み 【4/29 (土)～5/13 (土)】	まゆの家 （生活体験館）	300円	12名

まゆの家
年中行事
自由観覧

ひなかざり	～ 4/ 2（日）	ひな人形、武者人形、動物など、土びなを飾ります。
鯉のぼり立て	4/29（土・祝）～5/ 5（金・祝）	鯉のぼりを立てます。
七夕かざり	6/24（土）～7/ 7（金）	短冊に願いを書いて、七夕を飾ります。

四季を食べる講座

ボランティア「伝承料理の会」と一緒にこの地域に伝わる料理を作ります。料理にまつわる楽しいお話も聞けます。【持ち物：エプロン、三角巾】

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●参加料	●定員
5/20（土） 10:30 - 13:30	朴葉寿司	朴の葉が芳るおいしいお寿司を作ってみませんか？	要 事前申し込み 【4/ 8（土）～ 4/22（土）】	生活体験館「まゆの家」（受付も）	500円	15名
6/ 1（木） 10:30 - 13:30	さびらきのごちそう	昔、田植えの始めは"さびき"と言い"ナラチャ飯"で祝いました。	要 事前申し込み 【4/ 20（木）～ 5/ 9（火）】		500円	15名

定期講座

●日時	●名称	●内容	●申し込み方法	●会場	●受講料など	●定員
6/ 3(土)、7/8(土) 10/28(土)、2024 3/2(水) 9:30 -12:00	おとなのための植物観察会	大人を対象にした植物観察会。市内外をゆっくりと歩きながら四季折々の表情を観察していきます。※内容が変更となる場合があります。 持ち物：飲み物、筆記用具、帽子、動きやすい服装で。	要 事前一括申し込み 【3/14（火）～ 4/14（金）】	市内外各所	各回 100円	20名 （高校生以上）
4/30(日)、 7/30(日) 11/19(日)、12/ 3(日) 9:30-12:00 （7/30 のみ 9:30-15:00）	自然探検発見わくわくクラブ	身の周りの植物や動物などを観察したり、比べたり、一緒に調べたりしながら自然を楽しむ会です。親子でご参加下さい。 持ち物：飲み物、筆記用具、帽子、動きやすい服装で。	要 事前一括申し込み 【3/14（火）～ 4/14（金）】 ●子どもさんの学年を記載してください。	文化の森ほか	各回100円 ※別途各回材料費必要	8家族 年長以上、大人だけも可。 （年長～小学校4年生以下の方は親子で参加ください。）
5/11（木）、5/18（木） 5/25（木） 9:30-12:00	はたおり講座（初級）	初心者を対象にしたはたおり入門講座です。美しい布を織り上げます。（全3回）	要 事前一括申し込み 【4/ 1（土）～ 4/15（土）】 ※3 日間すべてにご参加いただける方のみ、申し込みをお願いします。	生活体験館「まゆの家」	2,100円	4名

事前申し込みについて

電話、FAX による受付は行いません。右記のいずれかの方法でお申し込みください。

■文化の森ホームページ講座専用申込フォーム
こちらのQRコードからもお申し込みできます。→
■はがき（住所、氏名、電話番号、希望講座を記入）
■ご来館
※応募者多数の場合は抽選となります。抽選結果は郵送にてお知らせいたします。

講座にお申し込みいただいた個人情報は、以下の項目のみに使用します。
1. お申し込みに関する問合せ
2. 講座開催に関する連絡
3. 抽選結果の通知

※イベントや講座について、今後の予定や定員が変更になる場合がありますので、文化の森ホームページでご確認いただくか、電話でお問合せください。
※施設を利用される方は、手指消毒をお願いします。

ミュージアムレポート

「博物館浴」その効果とこれからを考える研修会

1 月 24 日（火）に『「博物館浴」その効果とこれからを考える研修会』を開催しました。

ミュージアムの資料や作品の活用が、まるで「森林浴」のように人々のストレスを軽減し、活気を蘇らせる効果があると言われ、最近では「博物館浴」という言葉も生まれ、その手法と効果に期待と関心が高まり、調査、研究が進められています。今回、その研究の第一人者でもある九州産業大学地域共創学部教授の緒方泉さんをお迎えし、『「博物館浴」研究の最前線』と題して、「博物館浴」の現状、及ぼす効果や測定などについて講演をしていただきました。

緒方さんによりますと、芸術が健康に及ぼす効果について、外国では様々な実証実験が行われてきましたが、その研究方法や実験手順は、統一的なものではなく、また、国内での研究は、進展がありませんでした。そこで、緒方さんは、2020（令和３）年から国内で統一の手法による実証実験を開始、その綿密な分析結果から、「博物館浴」にリラックス効果があることが分かってきているというお話しをいただきました。また、講演と併せて、80 名の参加者のうち 16 名が効果測定体験として、企画展「墨痕に咲う展」を鑑賞、血圧等の測定を行いました。その結果、文化の森における「博物館浴」にも穏やかなリラックス効果があったとのことです。

緒方さんは、博物館を新たなウェルビーイング（幸福感）資源として活用する博物館健康ステーションの構築に期待を寄せていらっしゃいます。さらに、効果を証明するデータを集めていくことが今後の課題とのことですが、改めて、博物館の役割を参加者の皆さんと考えた会となりました。(A･H)

緒方先生による講演

効果測定体験